

潮寿荘

だより

福沢クリ子



ひなまつり



3月3日。潮寿荘でも恒例の『ひな祭り』を行いました。まず、ちらし寿司、エビの天ぷらなどひなまつりらしい昼食を頂きました。そして午後2時、皆でひな祭りの歌を歌って『ひな祭り』の開始です。

ひな祭りでは桜もちを食べ、記念撮影やゲームをして楽しみます。

記念撮影は金屏風の前でお内裏様とお雛様の格好をして写真を撮るのが恒例です。並んでいる時、最初は恥ずかしくていましたが、いざ撮影となるとみなさんステキな笑顔がカメラに向けてくださいます。



高貴なお方のような雰囲気
重和さん キヨさん



さくらもちがっつり



さくら餅
ハックリ♡

令和2年4月14日発行
発行：特別養護老人ホーム
潮 寿 荘
記事：4月担当潮寿荘職員
編集：潮寿荘だより編集委員
題字：福沢クリ子(92歳)

写真はいっこり



同一人物



ハゲが月々キヨさんのドンパン節

潮寿荘では毎朝(正確には日曜・祭日以外)利用者さんと一緒に『民謡体操』を行っています。この体操は北海盆唄や八木節などの

民謡のミックス曲に合わせて行う体操で、車イスに座りながらも無理なく行う事が出来る体操です。利用者さんと一対一で向き合い「はい、次は首を回します」など声をかけながら行います。さて、本日紹介するのはキヨさんのドンパン節。今日

ゲームコーナーでもイベントという事もあって皆さんいつも以上に盛り上がりまして楽しんでおりました。ひとしきり楽しんだ所で、お待ちかねの桜もちタイム〜
甘い物の強さは凄まじいですね、みなさん「いや〜美味しいね〜」とペロリと平らげてしまいました♡私も頂きましたがとても美味しかったです!!
年に一度のひな祭り。皆さんの元氣と笑顔で今年も大成功となりました。
(「休みは出かけっぱなし、何してんだか」と母が呟く介護士・池浦)

も今日とてキヨさんと向かい合っ一緒に体操開始。メロディがドンパン節のパートにさしかかるとキヨさん。満を持してこえ高らかにドンパン節の一節を歌い上げます。その歌詞が独特というかクセが強い。本元なら「唄で夜明けたわが国は〜」となりますがキヨさんは「う〜ちの父ちゃんハゲ頭〜」はい、当然こちらの歌詞で歌い上げます。キヨさんはここからオリジナルのアレンジを加えます。本来なら「隣の父ちゃんもハゲ頭〜」と続きますが、そこはすっ飛ばしてすぐに「ハゲとハゲとが喧嘩して〜」となります。さらに「どちらもケガ無くソダツタネ〜」と続きます。お気づきのよう「怪我無く良かったね」ではなく、あくまでも「育ったね」なのです。これが彼女のオリジナル。さらに皆さんはお気づきでしょうか。歌詞「隣の父ちゃんも〜」の部分ですっ飛ばした為にまだその分のメロディが余っている事を。この問題を解決する為に彼女が導き出した答えは何とまさかの「どちらもケガ無く育ったね」のリフレイン。さらに何故かさらに1オクターブ高く歌い上げるという、これも彼女のオリジナル。かくして今朝もキヨさんのクセの強いドンパン節がホールに響き渡るのです。
(子供いないぶん妻とはラブラブです、と自分から言う介護士・内村)

あんこ 入れ歯と おはぎバイキング



3月20日春分の日。今年も恒例のおはぎバイキングを行いました。

おはぎの種類は『あんこ』『きなこ』『ごま』。圧倒的人気はやはりあんこでした。あんこのお代わり分として61個用意していましたが、全て食べきってしまいました。皆様方たくさんおかわりされ満足されておりましたが、私的に特に印象に残ったことを紹介したいと思います。

まず、まり子さんですが、ごま、きなこを1個ずつと、なんと、あんこおはぎを5個も食べておられました。トータル7個を食べた後に「もう一個あんこ食べたい」と言われましたがあんこはすでに完売しており、ありませんでした。「他のはいらない」と少ししょんぼりとしておられ、わたしが「あんこだけならあるのでど

うぞ」とおはぎにしていけないあんこをお出しすると満面の笑みでありがとうと嬉しそうに召し上がられていたので良かったです。

続いては、静子さんとウメさんです。静子さんは全種類一個ずつとあんこをお代わりされていました。お代わりしたあんこのおはぎを箸でつまみ丸かじりしようとしておられ、私が「気をつけてくださいね」と伝え「ガブリ」と食いついたその時、入れ歯がおはぎに刺さって外れてしまいました。すでにあんこごまをお代わりされていたウメさんが、それを見て大笑い。その口元からその入れ歯はゴマで真っ黒。それを見て、今度は静子さんが大笑い。その勢いで下の入れ歯もポロリ。

色々あったおはぎバイキングでしたが、やっぱり食事は皆で楽しく食べるのが良いなあ、と思いました。私も同テーブルの方々もたくさん笑ったおはぎバイキングでした。(ようかん、どら焼き、甘い物に目がない20代男子あんこ介護士・尾上)



の予定

- 5月 5日 子供の日 (木) バイキング
- 7日 (木) 誕生会
- 13日 (水) 特別喫茶
- 16日 (土) OT (作業療法士) リハビリ
- *花見ドライブと家族懇談会はコロナ予防のため中止または延期となります。

かたりイケメンおた 正則さん登場!!



クリ子さんとの私のエピソード



クリ子さんと会話をはじめたのは、午前と午後の点眼薬をする時です。メガネを外し、点眼をする時からずっと終わって暫くしても、クリ子

さんは私の事をじつと見つめており、メガネを忘れている状態で「どうしましたか?」とたずねると「看護婦さんの目大きくて、とても綺麗なんだわ。わしの目とは全然違うんだよ」と毎日のように言ってくれます。若い頃に一度、同じ事を言われたことがありますが、何十年か振りにクリ子さんに言われ、とっても嬉しく、少し恥ずかしい気もします。クリ子さんは大声を上げる事なく、優しい口調で、時には冗談も言い、いつも心がほっこりします。たまに隣のタヨ子さんも交えて会話が盛り上がります。(休みの日はリュックを背負ってどこかへ遠出している看護師・川村)

私が紹介するのは正則さんです。大正15年3月31日生まれの94歳です。正則さんは16歳の時、志願兵として太平洋戦争真っ只中の海軍に配属になり、海軍を代表する『長門』に乗務することになったそうです。私は身長176センチ。小さいほうではありません。しかし正則さんは立ち上がると私よりはるかに大きく190センチ近くあると思われ、当時の上官達もたくましく思えたに違いありません。しかし当時のベッドはコンパクトに設計されており苦労したと想像できます。台湾出身の介護士が国の話をしている、台湾バナナの味が忘れられないと笑顔で話してくれました。『長門』は、戦後アメリカに徴収され水爆実験の的となり屈辱的な最期をとげましたが一発や二発では沈まない『長門』を見てアメリカ兵が言った「オールド・ネイビー・ネバードイ(老兵は死なず)」に少し救われた気がします。当時最大級の大砲を積んでいた『長門』に乗船していた正則さんですから、体を生かして装填係でもしていたのかと尋ねると「いや、新米だから調理場だった」と話され、なんだかほっこりしました。正則さんのような方々のおかげで今の私たちがいるんだと改めて思いました。(最近見て良かったのは『パラサイト』映画好き介護士・石黒)